

Lenovo

Lenovo TAB4

**安全上の注意と保証および
クイックスタートガイド**

目次

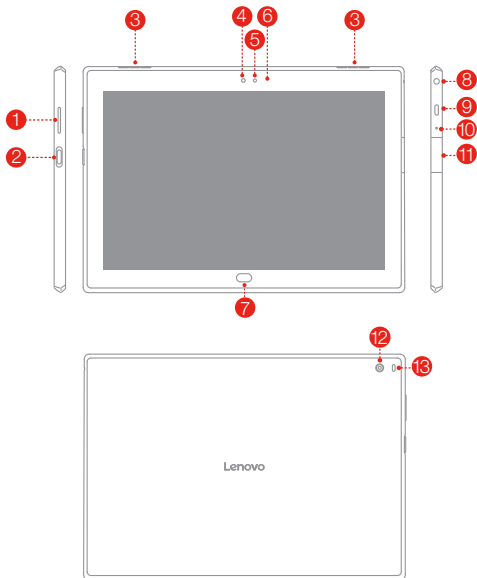
技術仕様	1
各部の名称.....	2
準備	3
使用開始	5
Wi-Fi設定.....	6
お問い合わせ先一覧	7
本製品の比吸収率(SAR)について	8
使用材料	13
保証とアフターサービス	14
知的財産権について	15
安全上のご注意	16
防水／防塵性能について	28
ご利用上の注意事項	32

技術仕様

Lenovo TAB4	
プラットフォーム	Android
プロセッサ	MSM 8953、OctaCore 2.0 GHz
カメラ	8メガピクセル AF (背面)+2メガピクセル FF (前面)
内蔵電池	7000 mAh
ディスプレイ	サイズ:10 インチ 解像度:1920 × 1200
通信方式及び帯域	Bluetooth 4.2 WLAN 802.11 a/b/g/n/ac GPS/GLONASS ① *LTE、WCDMA、GSM

① LTE 周波数帯域 1、3、8、および41 をサポートします。

各部の名称



- | | | |
|------------|-------------------------|----------|
| ① ボリュームキー | ② 電源キー | ③ スピーカー |
| ④ フロントカメラ | ⑤ 近接センサー | ⑥ 充電ランプ |
| ⑦ 指紋センサー | ⑧ イヤホン端子 | ⑨ 外部接続端子 |
| ⑩ マイク | ⑪ USIMカード/
SDカードスロット | ⑫ カメラ |
| ⑬ フラッシュライト | | |

準備

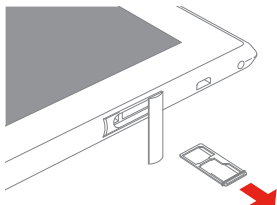
本機では、ワイモバイルによって提供される*USIM カードを挿入することによってデータ通信サービスを利用できます。

図に示すようにUSIM カードとSD カードを挿入します。

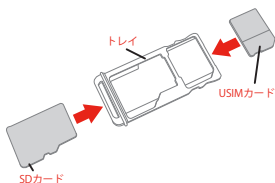
① USIM カードは、本機の画面では「SIM カード」と表示される場合があります。



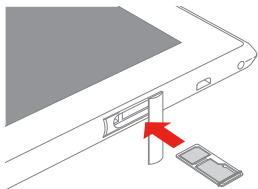
ステップ1. カードスロット・カバーのミゾ（○の位置）に指先をかけて、カードスロット・カバーを矢印の方向に開きます。



ステップ2. 本体のディスプレイ側を上にして、USIMカード／SDカード用のトレイをすべて引き出します。



ステップ3. USIM カードとSDカードの金属端子面を下に向け、トレイの形にあわせて置きます。



ステップ4. USIMカード／SDカード用のトレイを、カードスロットに挿入します。

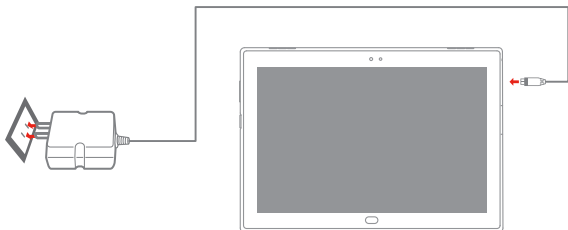


ステップ5. カードスロット・カバーを矢印の方向に閉じます。

使用開始

ACアダプタは、別売のACアダプタ1.0A [ZSDAY2]^{*1}、または共通ACアダプタ1.8A [ZSDAY3]^{*2}をお使いください。

ここでは、共通ACアダプタ1.8A [ZSDAY3]を使用して充電する方法を例に説明します。



本体に充電器を接続し、電源プラグをコンセントに接続します。

周辺機器についてはワイモバイルのホームページを参照してください。

※ 1 Y!mobile用充電ACアダプタ02 microUSB (Bタイプ) [AC02-MU-K]

※ 2 Y!mobile用充電ACアダプタ03 microUSB (Bタイプ) [AC03-MU-K]



電池残量少



電池残量十分



電池充電中

電源を入れる／切る

電源を入れる

ワイモバイルのロゴが表示されるまで電源キーを押し続けます。

電源を切る

電源キーを数秒押し続け、「電源を切る」>「OK」をタップします。

スクリーンショットの撮影

電源キーとボリュームキー(下)を同時に押し続けます。

Wi-Fi設定

本機はWi-Fi(無線LAN)に対応しており、ご自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Wi-Fiルーターを準備する

ステップ1. Wi-Fiルーターがあるか確認します。

- ご自宅など、インターネットを使いたい場所にWi-Fiルーターがあることを確認します。

ステップ2. Wi-Fiルーターの電源が入っているか確認します。

ステップ3. ネットワークとパスワードを確認します。





- ネットワークは、「SSID」などと記載されていることもあります。
- パスワードは、「暗号化キー」「KEY」「PSK-AES」などと記載されていることもあります。
- ご不明な点は、Wi-Fiルーターの取扱説明書をご確認ください。

本機を設定する

利用可能なアクセスポイントを検索して接続することができます。

ステップ1. ホーム画面で  > 「設定」をタップします。


ステップ2. 「Wi-Fi」をタップします。

- Wi-Fi設定画面が表示されます。
- OFF () をタップすると、Wi-FiがON () になります。
- 利用可能なネットワークが自動的に検出され、一覧表示されます。
- Wi-FiをOFF () にするときは、ON () をタップします。

ステップ3. 接続するアクセスポイントをタップします。

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合は、パスワードを入力し、「接続」をタップします。
- セキュリティで保護されていないアクセスポイントを選択した場合は、パスワードを入力する必要はありません。

ステップ4. 接続済みであることを確認します。

- ステータスバーに 、ネットワークの欄に「接続済み」が表示されます。

接続できない場合

保存されたネットワークに接続できない場合は、アクセスポイントを切断してもう一度お試しください。

- 接続したいアクセスポイントのSSIDが非公開の場合、「ネットワークを追加」をタップし、必要なネットワーク情報 (SSIDなど) を入力すると接続できます。
- Wi-FiをONにすると、本機の消費電力が高くなります。電池を節約するには、使用する必要がないときにWi-FiをOFFにしてください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ワイモバイル カスタマーセンター

- お問い合わせの際に、ワイモバイルのスマートフォン・ケータイの電話番号と暗証番号 (新規で契約時にお客様にてお決めいただいた4桁の番号) が必要になります。
- ホームページ <http://ymobile.jp/>

総合窓口 (受付時間: 午前9時から午後8時まで)

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 151 (有料)

一般電話、他社スマートフォン・ケータイから 0570-039-151 (有料)

各種手続き (受付時間: 24時間)

ワイモバイルのスマートフォン・ケータイから 116 (無料)

一般電話、他社スマートフォン・ケータイから 0120-921-156 (無料)

海外から (受付時間: 午前9時から午後8時まで (日本時間))

+81-4-4382-0800 (有料)

本製品の比吸収率(SAR)について

この製品【Lenovo TAB4】は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

この製品は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準^{*1} ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、この通信端末に対するSARの許容値は2.0 W/kgです。この製品を次に記述する所定の使用法^{*3}で使用した場合のSARの最大値は1.46 W/kg^{*2}です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

この製品を人体の近くでご使用になる場合^{*3}

この製品を人体の近くでご使用になる場合、身体から離さない(0cm)使用の状態で国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)に規定されています。

※2 <携帯電話サービス>と同時に使用可能な無線機能を含みます。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

- 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、米国連邦通信委員会(FCC)の基準を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6 W/kg となっています。

測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、下記のとおりに従って 人体の近く でご使用になる場合は 1.2 W/kg です。

人体の近くでご使用になる場合: この製品【Lenovo TAB4】では、一般的な携帯電話の装着法として、身体と離さない (0cm) 状態で、携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、装身具を使用する場合、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

Specific Absorption Rate (SAR) Information for this Product (for Japan)

This product [Lenovo TAB4] meets Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this product is 1.46 W/kg*** when used close to the body in the below manner****.

While there may be differences between the SAR levels of various products and at various positions, all products meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the product during operation can be well below the maximum value.

Use close to the body****

To use this product close to the body, ensure no metal (parts) between it and the body. This will ensure this product meets the Japanese technical regulations for exposure and international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html> (Japanese)

This product [Lenovo TAB4] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use worn on the body in a holder or carry case, is 1.2 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept at no separation distance (0 cm) from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that do not contain metallic components between the user's body and the back of the handset.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model

handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID O57TAB4LV.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on FCC Radio Frequency Safety website at <https://www.fcc.gov/general/radio-frequency-safety-0>.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
<http://www.who.int/emf>

使用材料

使用箇所	材料	表面処理
筐体(前面)	PC樹脂	光沢塗装
ディスプレイ	アルミノケイ酸ガラス	—
指紋センサー	シリコン	塗装
筐体(背面)	ガラス	印刷
フラッシュライト	PMMA樹脂	テクスチャ処理
電源キー	PC樹脂	ラジウム彫刻+光沢塗装
ボリュームキー	PC樹脂	光沢塗装
USIMカード/SDカード用のトレイ	SUS	塗装
カードスロット・カバー	PC樹脂+TPU+LSR	光沢塗装
フラッシュライト飾り	アルミニウム合金	アルマイト処理

保証とアフターサービス

保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 本機の故障、誤作動または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な連絡先などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（連絡先／音楽／静止画／動画など）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される場合、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先(P.7)へご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。
- アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのワイモバイルショップまたはお問い合わせ先(P.7)までご連絡ください。




知的財産権について

- SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- Yahoo! およびYahoo!, Y! のロゴマークは、米国Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- Lenovo およびLenovo ロゴは、Lenovo Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth® は米国Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- Google およびGoogle ロゴ、Android およびAndroid ロゴ、Google Play (旧Androidマーケット) およびGoogle Play ロゴ、Gmail およびGmail ロゴ、PicasaおよびPicasaロゴ、YouTubeおよびYouTubeロゴ、GoogleマップおよびGoogleマップロゴ、Google マップナビおよびGoogle マップナビロゴ、Google Earth およびGoogle Earth ロゴ、Google 検索およびGoogle 検索ロゴ、Google 音声検索およびGoogle 音声検索 ロゴ、Google ゴーグル(日本語未対応) およびGoogle ゴーグルロゴ、Google バズおよびGoogle バズロゴ、Google Sky マップおよびGoogle Sky マップロゴ、Google トークおよびGoogle トークロゴ、Google+ ローカル(旧Googleプレイス) およびGoogle+ ローカルロゴ、Google Latitude およびGoogle Latitudeロゴ、Google カレンダーおよびGoogle カレンダーロゴ、Google ウォレットおよびGoogle ウォレットロゴ、Google ドキュメントおよびGoogle ドキュメントロゴ、Google Apps for Business、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、AndroidWear、Nexus は、Google LLC の商標または登録商標です。
- SD およびSD ロゴ、SDHC、miniSD およびminiSD ロゴ、microSD、microSDHC は、SD-3C, LLC の商標です。
- OMRON およびオムロンの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるオムロン株式会社の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^{※1} を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^{※2} を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^{※3} の発生が想定される」内容です。

※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

禁止・強制の絵表示の説明

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

本機、USIM カード、TVアンテナケーブル、充電器(別売)の取り扱いについて(共通)

⚠ 危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH 調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水・防塵性能については以下をご参照ください。

P.28「防水／防塵性能について」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

P.28「防水／防塵性能について」



禁止

本機に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ・ ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 危険



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

P.28「防水／防塵性能について」



水濡れ禁止

外部接続端子、USIMカード／SDカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

P.28「防水／防塵性能について」



指示

本機に使用する充電器は、ワイモバイルが指定したものを使用してください。

指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

外部接続端子、USIMカード／SDカードスロットに導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったりにしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本機の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。パイプレータ設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
P.28「防水／防塵性能について」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本機を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。
アプリ、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本機や充電器の温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけた
りするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本機内部の物質などが目の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗っ
た後、直ちに医師の診療を受けてください。
本機内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となりま
す。

警告



禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特
に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。
視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけが
などの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯、発光しないでください。
運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。
けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本機内のUSIM カード/SDカードスロットに水などの液体(飲料水、汗、海
水、ペットの尿など)や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れな
いでください。また、USIM カードやSD カードの挿入場所や向きを間違え
ないでください。
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

警告



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本機の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本機の電源を切ってください。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本機を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本機に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

待ち受け中であっても、突然の通知音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、通知時のバイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

突然の通知時のバイブレータ（振動）や通知音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

警告



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。



指示

※ご注意ください電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本機の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本機に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。



禁止

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本機は、ワイモバイルショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本機の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質について→(使用材料:P.13)



指示

本機のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。

⚠ 注意



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

USIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意



指示

USIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。

切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本機を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本機を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本機の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

防水／防塵性能について

本機はUSIMカード／SDカードスロットのカバーを確実に取り付けられた状態で、保護等級（JIS C 0920）のIPX7の防水性能、IP5Xの防塵性能を有しています。

IPX7: 常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本機を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本機内部に浸水せず、携帯電話としての性能を保つことを意味します。

IP5X: 直径75 μ m以下の塵埃（じんあい）が入った装置に携帯電話を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに携帯電話としての機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

本機が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
 - 手が濡れているときや本機に水滴がついているときには、USIMカード／SDカードスロットのカバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着したりした場合に洗い流すことができます。
 - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
 - 洗うときはUSIMカード／SDカードスロットのカバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- USIMカード／SDカードスロットのカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- スピーカー、外部接続端子などを尖ったものでつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- USIMカード／SDカードスロットのカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持するうえで重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 本機に強い衝撃を与えたりして変形させないでください。防水／防塵性能が損なわれることがあります。

USIMカード／SDカードスロットのカバーについて

- スロット・カバーの閉じかたについては、「準備」(P.3)を参照してください。
- USIMカード／SDカードスロットの周囲のパッキンは、防水性能を維持するため大切な役割をしています。傷つけたり、はがしたりしないでください。
- パッキンを噛み込まないようにご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、パッキンが傷つき、防水性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本など)がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- USIMカード／SDカードのトレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、パッキンが傷つく恐れがあり、浸水の原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回部品の交換をおすすめします。ワイモバイルショップなどで、本機をお預かりして部品の交換を有料にて承ります。ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先(P.7)へご相談ください。

ご使用にあたってのご注意

次のような行為は行わないでください。

- 浴室／シャワー室などで使う
- 石鹸／洗剤／入浴剤をつける
- ブラシ／スポンジで洗う
- 洗濯機で洗う
- 強すぎる水流を当てる
- 海水につける
- 温泉で使う
- 砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 万一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本機は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。

- スピーカー、外部接続端子などに水滴を残さないでください。動作不良となったり、衣服やかばんを濡らしてしまうことがあります。
- USIMカード／SDカードスロットのカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先(P.7)までご連絡ください。
- USIMカード／SDカードスロットのカバー裏面のパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ワイモバイルショップもしくはお問い合わせ先(P.7)にてお取り替えください。
- 本機が水で濡れた状態でイヤホンなどを接続しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどにより、故障・やけど・火災の原因となります。
- 湿気が多い場所に長時間放置しないでください。
- 寒い屋外から暖かい部屋などに急に本機を持ち込まず、一度室内に置いて本体が温まってから持ち込んでください。
- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの対処について

本機を水に濡らした場合、そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合があります。

次の手順で乾燥させてください。

1. 本機に付着した水分を乾いたタオル・布などでよく拭き取ります。
2. 本機をしっかりと持ち、水滴が飛ばなくなるまで振ります。
3. 上下の向きを変え、本機をしっかりと持ち、水滴が飛ばなくなるまで再度振ります。
4. 本機内部より出てきた水分を、乾いたタオル・布などでよく拭き取ります。
5. 乾いたタオル・布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置して乾燥させます。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本機が濡れていないか確認してください。本機が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品は防水／防塵性能を有していません。
- 本機または充電器が濡れている状態ではUSBプラグを絶対に接続しないでください。本機は防水性能を有しておりますが、濡れた状態でUSBプラグを挿入すると、本機やUSBプラグに付着した液体(水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など)や異物により、感電や回路がショートして、故障・やけど・火災の原因となります。
- ACアダプタ(別売)、USBケーブル(市販品)は、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ(別売)、USBケーブル(市販品)に触れないでください。感電の原因となります。

ご利用上の注意事項

ここでは、本機のご利用上の注意事項と、取扱説明書をダウンロードする方法が記載されています。

規制に関する情報

ワイヤレス通信機能を搭載した製品は、その無線使用を認可された国または地域の無線周波数と安全規格に適合しています。また、電気通信モデムが搭載されている製品は、該当する国の電話ネットワークへの接続に関する要件に準拠しています。

一部の規制情報は、タブレットの「設定」>「タブレット情報」>「法的情報」でも確認できます。

サービスおよびサポートに関する情報

本機を初めて起動する場合（およびインターネットにアクセスする場合）、本機のIMEI (International Mobile Equipment Identity) 番号またはシリアル番号 (SN) が、本機を最初にアクティブ化する国および都市に関する情報と共にLenovo に送信され、登録されます。これは1回限りの登録です。携帯電話／タブレットが起動されたことを確認することにより、製品が正当なものであることを確認し、お客様へのアフターサービスをより円滑に行うことができます。登録の際に送信されるデータの量は1KB未満です。

安全性および取り扱いに関する重要な情報

ビニール袋に関する注意事項

危険：

ビニール袋には注意が必要です。窒息につながる危険があるため、ビニール袋は乳幼児の手の届かないところに保管してください。

内蔵型充電式電池に関する注意事項

危険：

内蔵されている充電式リチウムイオン電池はお客様自身では交換しないでください。電池の交換については、ワイモバイルショップまたはお問い合わせ先(P.7)へご相談ください。

難聴に関する注意

本機にはイヤホン端子があります。ヘッドホン（ヘッドセットと呼ばれることもあります）またはイヤホンには、必ず、イヤホン端子を使用してください。

注意：

イヤホンおよびヘッドホンの音量が大きすぎると難聴になる可能性があります。イコライザを最大にするとイヤホンおよびヘッドホンの出力電圧と音量レベルが増加します。聴覚を保護するため、イコライザは最適なレベルに調整してください。

プラグがEN 50332-2 の仕様に準拠していないヘッドホンまたはイヤホンで大音量で長時間使用すると危険です。

本機のヘッドホン出力端子はEN 50332-2 第7 条に準拠しています。この仕様は、本機の最大広帯域の真の RMS 出力電圧を150 mV に制限するものです。難聴を防止するために、ご使用のヘッドホンまたはイヤホンが75 mV の広帯域の規定電圧に対してEN50332-2(第7 条の制限)にも準拠していることを確認してください。EN 50332-2 に準拠しないヘッドホンを使用した場合、過度の音量レベルによる難聴の危険があります。ヘッドホンまたはイヤホンを使用する場合は、そのヘッドホンまたはイヤホンがEN50332-1(第6.5 条の制限値)に準拠していることを確認してください。EN 50332-1に準拠しないヘッドホンを使用した場合、過度の音量レベルによる難聴の危険があります。

音量に関する警告メッセージ

EN 60950-1: 2006+A11:2009+A1:2010+A12:2011 に準拠してテストされた製品の場合、EN50332 のオーディオテストの実施が義務付けられています。

本機は、該当するEN 50332-1 および(または)EN 50332-2 標準で規定される音量レベル要件への準拠がテストされています。長時間にわたって大音量でイヤホンやヘッドホンで聴き続けると、永続的な難聴になる場合があります。



警告メッセージ

聴覚への損傷を防ぐため、大きな音量で長時間聴かないようにしてください。

環境、リサイクル、破棄に関する情報

リサイクルに関する全般的な声明

Lenovo は、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が不要になったときに責任をもってリサイクルすることをおすすめしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルについて詳しくは、<http://www.lenovo.com/recycling> にアクセスしてください。

日本におけるリサイクル情報

日本でのリサイクルおよび廃棄についての情報は、Web サイト <http://www.lenovo.com/recycling/japan> で入手可能です。

リサイクルに関するその他の声明

タブレットのコンポーネントおよび電池のリサイクルに関する追加情報については、「ユーザーガイド」を参照してください。

電池のリサイクルマーク

台湾における電池のリサイクル情報



廢電池請回收

For better environmental protection, waste batteries should be collected separately for recycling or special disposal.

米国およびカナダにおける電池のリサイクル情報



US & Canada Only

エネルギー効率のマーク



有害物質の使用制限指令 (RoHS)

トルコ

The Lenovo product meets the requirements of the Republic of Turkey Directive on the Restriction of the Use of Certain Hazardous Substances in Waste Electrical and Electronic Equipment (WEEE).

Türkiye AEEE Yönetmeliğine Uygunluk Beyanı

Bu Lenovo ürünü, T.C. Çevre ve Orman Bakanlığı'nın "Atık Elektrikli ve Elektronik Eşya Bazı Zararlı Maddelerin Kullanımının Sınırlanması Dair Yönetmelik (AEEE)" direktiflerine uygundur. AEEE Yönetmeliğine Uygundur.

ウクライナ

Цим підтверджуємо, що продукція Леново відповідає вимогам нормативних актів України, які обмежують вміст небезпечних речовин

インド

RoHS compliant as per E-Waste (Management & Handling) Rules, 2011.

ベトナム

Lenovo products sold in Vietnam, on or after September 23, 2011, meet the requirements of the Vietnam Circular 30/2011/TT-BCT ("Vietnam RoHS").

メキシコのユーザーへの注意事項


La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

- (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
- (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

法的通知

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。
次の操作で、技術基準適合証明に関する情報( 等)を確認できます。

「設定」>「タブレット情報」>「証明」

FCC ID の確認について

次の操作で、FCC ID を確認できます。

「設定」>「タブレット情報」>「証明」

取扱説明書

本書の最新版やユーザーガイドは、ワイモバイルホームページからダウンロードできません。

<http://www.ymobile.jp/lineup/702lv/support/>

ユーザーガイドでは、本機の操作に関する情報をより詳細に記載しています。

本機またはパソコンで確認できます。

2017年 12月第 1 版発行

ソフトバンク株式会社

※ご不明な点はお求めになったワイモバイル携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Lenovo TAB4

製造元：Lenovo PC HK Limited



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

Reduce | Reuse | Recycle



Li-ion



**キケン！
水ぬれ充電**



**やめましょう、
歩きスマホ。**



HQ60113728000

Printed in China